

## 平成28年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成28年4月～平成29年3月

### 1. 学校概要

学校名 名古屋市立名東高等学校

種別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫教育  
 中学校  中高一貫教育  高等学校  
 教員養成  技術/職業教育  
 特別支援学校  その他 ( )

所在地 〒 465 - 0064  
愛知県名古屋市名東区大針一丁目351番地

E-mail kokusai-pt.meito-h@nagoya-c.ed.jp

Website http://www.meito-h.nagoya-c.ed.jp

児童生徒数 男子 464 名 女子 618 名 合計 1,082 名  
 児童・生徒の年齢 15 歳～ 18 歳

### 2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ( )

### 3. 活動内容

#### (1) 1年間の主な活動内容

名東高校は、” Go global! Go higher! Go for it! ～真の国際人を目指す国際理解教育とESD～” をテーマとして、ESD（持続可能な開発のための教育）と国際理解教育の推進拠点として研究、実践に取り組み、その成果を積極的に発信することを通してESDの理念の普及に努めることに学校全体で取り組んでいる。ESDの理念を授業に効果的に生かし、名東高校の教育目標を実践して「世界中どこでも役立つ人」を育てるための1年間の取組、実践について5つの観点（国際理解教育、国際交流活動、名古屋ボランティアガイド、ESD 関連事業への参加、名東高校スピーチコンテスト）について報告する。

#### 【1】国際理解教育

##### ①学校設定教科「ワールドスタディーズ」

ESD を柱とした本校の国際理解教育プログラムの中心であり、世界の諸問題を知り、理解を深め、その解決のために行動できる高校生を目標としている。1年生では「世界の現状を知ろう」、「世界の諸問題を考えよう」、「世界に貢献するための文化理解」、「国際協力の取り組み」という単元でワークショップや外部講師による講演会（異文化セミナー）、プレゼンテーションなど様々な活動を通して解決策を探究した。また2年生では夏季休業中にNGOなどの活動に参加、協力し、世界の諸問題解決のために自分たちができることは何かを考えて、プレゼンテーションを行い、行動につなげていくことができた。

回	時期	内容	講師
1	6月	「貧困とフェアトレード」	土井ゆき子氏 (風's 代表)
2	10月	「イスラム教徒の生活」	イナース・ハッサン氏 (JICA シニア・アドバイザー)
3	12月	「地球環境問題について考える」	杉山範子氏 (名古屋大学大学院 環境学研究科特任教授)
4	3月	「国際貢献と国際協力を考える」	奥田ひと美 氏 (前青年海外協力隊員、JICA 勤務)

\* 1年生：異文化セミナー（外部講師による講演会）

\* 1, 2年生対象「グローバル語り部派遣事業」

回	時期	内容	講師
1	1月	「外務省、国際 NGO, 国連での仕事 について。高校生へのメッセージ」	岩淵 智宏氏 (国際連合 現勤務国インド)

\* 2年生：異文化セミナー（外部講師による講演会）

ゼミ	テーマ	訪問団体
A	日本の子どもの人権	こども NPO
B	人権を守ること	フィリピン移住者センターFMC
C	農業とコミュニティ、開発教育	認定特定非営利活動法人 高山まちづくりスポット
D	ジェンダー平等	株式会社デンソー
E	裁判官制度	名古屋地方裁判所
F	多文化共生	愛知聖ルカセンター内 ELCC 国際子ども学校
G	世界の子どもと貧困	世界の子どもたちを貧困から守る会

回	時期	内容	講師
1	6月	「NGO の日本また国際社会における役割と活動参加への心構え」	戸村京子氏 (名古屋 NGO センター理事)
2	10月	「韓国の現在と日本」	アン・ヨンチョル氏 (韓国観光公社名古屋支社)
3	11月	「ワークショップ（桃太郎伝説）を通して難民問題を学ぶ」	今枝明子氏 (あいち国際理解ステーション)
4	12月	「ESD ワークショップ：志」	名古屋市立大学ゼミ、FORA

2年生夏季休業中の NGO 等訪問先

H	多文化共生（宗教、紛争）	特定非営利活動法人 多文化共生リソースセンター東海
I	スポーツを通じた貢献	全国こども福祉センター
J	食糧問題	日本国際飢餓対策機構
K	環境保全	トビタテ!留学 JAPAN イギリス：ナショナルトラスト



ワールドスタディーズ授業風景



フィリピンの子どもたちとスカイプ交流

## 【2】国際交流活動

### ① 留学生の受け入れ：留学生と共に生活することにより異文化理解を深めた。

- 4月 ドイツ1名、フランス1名、ノルウェー1名（長期）留学生受入
- 5月 台湾南港高級中学より生徒35名が訪問、授業体験、交流会  
姉妹校である韓国城南（ソンナム）外国語高校より生徒42名が訪問、授業体験、  
交流会（英語でのプレゼンテーション、ディスカッション）を行った。
- 6月 第1回「インターナショナルデイ」留学生が自国、日本・名東高校での生活について紹介、本校ロサンゼルス外国人講師からの発表などを行い、生徒約50名が参加。（協力：外国語研究部、PTA国際交流委員会）
- 7月 ロサンゼルスより姉妹都市友好協会からの派遣生2名の短期留学受入
- 9月 フランス1名、タイ1名の長期留学生受入。アメリカ1名（短期留学生）受入。
- 10月 国際英語科韓国修学旅行：城南外国語高校を訪問。授業体験、発表、交流。
- 11月 インドネシア・コタバル高校より生徒2名、教員2名を受入（9日間）
- 12月 JENESYSプログラム香港高校生32名受入。  
第2回「インターナショナルデイ」（留学生との交流会）
- 2月 第32回名東高校英語スピーチコンテスト



名東高校留学生と



香港高校生来校

### ② 語学研修：オーストラリア・ブリスベンにおける語学研修

全校生徒の希望者を対象に、オーストラリアへの語学研修旅行を夏季休業中に実施している。ホームステイでは、英語を学びながら異なる文化圏での生活を体験し、研修中は、午後のアクティビティを設定して現地校訪問、大学見学、先住民アボリジニ文化の学習等多様な活動を行い、国際社会に対応する柔軟性と主体性を身につけることができた。



アボリジニ文化体験



現地校訪問：日本文化紹介、交流



### ③海外修学旅行

本校国際英語科は韓国修学旅行を実施しており、現地を訪れて朝鮮半島の現状や日韓の歴史を学び平和について考える機会としている。また姉妹校である城南外国語高校への訪問も行っており、午前中は授業を体験し、午後は交流会を行った。交流会ではESDをテーマとした発表とディスカッションを行い、充実した交流をすることができた。

### 【3】名古屋城英語ボランティアガイド

テーマ：「名古屋の魅力を世界へ発信～なごやおもてなし大作戦～」

\* ユネスコアシストプロジェクト（2015、2016年度）

\* ESDの分野：国際理解、地域遺産学習

①協力団体 AGN（NPO 愛知善意ガイドネットワーク：愛知県を中心にこの地域を訪れる外国の方に地域の良さを紹介、国際交流活動を実施）

→生徒への講義、アドバイス、下見同行など

②対象生徒 2015年度 国際英語科1～3年、外国語研究部

2016年度 ユネスコスクールとして全校生徒へ呼びかけ

第1期生：17名 第2期生：20名 [2017年度第1期生30名]

③10月 「名古屋市役所国際交流課」より依頼：姉妹都市交流（名古屋まつり）

ロサンゼルスからのお客様（約25名）、フランスよりランス市副市長を案内生徒17名（普通科、国際英語科）が参加、英語でガイド、おもてなし



### 【4】ESD関連事業への参加、成果発表

① 平成28年9月17日 「環境デーなごや」（名古屋市環境局主催）での発表  
「名東生が考えるフェアトレード」（名古屋テレビ塔下広場）



②平成28年12月16日 (愛知教育大学主催、会場：ウインクあいち)  
「平成28年度 愛知県ユネスコスクール指導者交流会」での発表

テーマ：「名東高校におけるESDの取組～ワールドスタディーズと

名古屋城おもてなしプロジェクト～」

③ 平成28年12月17日 名古屋ユネスコ協会主催  
「第3回ユネスコ協会・ESDパスポート体験発表会 Today for Tomorrow  
～よりよい未来を一緒に創ろう！～」

\*会場：名古屋市立名東高等学校 国際教育センター

13:00 開会式 主催者挨拶 名古屋ユネスコ協会 下枝洋会長  
会場校挨拶 名古屋市立名東高等学校 教頭 永井年彦先生

13:15 生徒体験発表

1. 岡崎市立竜南中学校
2. 愛知県立千種高等学校
3. 愛知県立愛知商業高等学校
4. 名古屋市立名東高等学校
5. 名古屋市立名東高等学校&向陽高等学校

表彰 (ボランティア活動認定証、及び 奨励賞授与)

14:30 全体交流会

「よりよい未来を一緒に創ろう！」

ファシリテーター：NIED 国際理解教育センター 伊沢令子氏

16:30 講評 日本ユネスコ協会連盟 国内事業部 古澤真理子氏

名古屋ユネスコ協会主催の「第3回ESDパスポート体験発表会」を名東高校を会場として行い、発表校5校、中高生、教員、全国のユネスコ協会からの参加者を含めて約85名を迎え、名東高校からも多数のボランティア生徒が参加して受付、司会、案内を担当し、名古屋ユネスコ協会の下枝会長、金原副会長へ協力し、会を成功させることができた。名東高校の発表ではユネスコアシストプロジェクトである名古屋城おもてなしガイドについて、また向陽高校との合同発表では、名古屋市立高校生派遣で姉妹都市シドニーに派遣された生徒2名から、テーマを国際理解、環境、自然保護としてオーストラリアでの体験や名古屋の東山動物園と姉妹動物園であるタロンガ動物園の取組、自分たちが考えるESD持続可能な社会への取り組み、について発表した。全体交流会では、名東高校へ教員研修ワークショップの講師として来ていただいていたNIEDの伊沢先生にファシリテーターとしてお越しいただき、中高生から大人まで幅広い年代のメンバーでグループをつくり、「よりよい未来を一緒に創ろう！」というテーマで様々なことについて話し合うことができた。今後もESDの推進拠点として地域のユネスコ協会、ユネスコスクールと連携した取組、発表会、事業に積極的に参加し、自分たちの活動内容を充実させていきたい。



- ③平成29年1月14日「ユネスコスクール ESD 活動成果発表会」での発表  
 \*ESD コンソーシアム愛知 主催 会場：中部大学名古屋キャンパス  
 (「グローバル人材の育成に向けた ESD 推進事業」)  
 発表テーマ：「名東高校と ESD ～ワールドスタディーズと  
 南アフリカ共和国体験報告～」



南アフリカ共和国報告パワーポイントより

### 【5】名東高校第32回英語スピーチコンテスト

\*テーマ：「ESD—持続可能な社会、地球・すべての人にとってよりよい未来のために」  
 名東高校 HP “トピックス”より

「2月4日(土)に「第32回スピーチコンテスト」を下記のプログラムで開催しました。保護者の方、中学生、地域の方をはじめ多くの方にお越しいただき、ありがとうございました。今年度のテーマは「ESD—持続可能な社会、地球・すべての人にとってよりよい未来のために」とし、1年間の学びの締めくくりとして生徒たちがESDについて考えていることや自分たちの思いを英語で発信し、共に考える貴重な機会とすることができました。今後もユネスコスクールとして様々な活動に取り組み、発信していきたいと考えています。」

平成29年2月4日(土)

第1部 レシテーションの部

第2部 スピーチの部

第3部 本校留学生による日本語スピーチ、  
 モデルスピーチ(南山大学オーラルインタープリテーションコンテスト審査員賞受賞  
 グループ) グループレシテーション(国際英語科1年生、2年  
 生によるクラス発表)

第4部 表彰、審査員の先生方による講評

(2) 活動時間について(下記から選択して下さい。)

通常の授業時間を使用(総合的な学習の時間を含む)

- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（「名古屋城おもてなしガイドプロジェクト」は外国語研究部、国際英語科、普通科生徒希望者で実施）